

(2) ニーズ割合

平成 15 年 10 月に実施しました「子育てに関する意向調査」において、各子育て支援事業についての利用意向を質問しており、全回答者に対する各子育て支援事業の利用希望数の割合がその事業のニーズ割合となります。

$$(\text{ニーズ割合}) = (\text{利用希望回答数}) / (\text{全回答者数})$$

(3) 目標事業量の算出〔次ページ参照〕

ニーズ量の推計方法は、意向調査での各サービス毎の利用希望数を全回答者数で割って出したニーズ割合を目標年の推計児童数に乗じて算出することとします。また、目標事業量はニーズ量から供給基盤、財政基盤、地域の実情等を考慮した上で設定することとします。

$$(\text{ニーズ量}) = (\text{推計児童数}) \times (\text{ニーズ割合})$$

$$(\text{目標事業量}) = (\text{ニーズ量}) - (\text{対応の必要性がない事業量、対応困難な事業量})$$

2 現行プランの目標事業量と新プランの目標事業量の関係

(1) 現行プランの目標事業量

現行プランでは、旧野田市で平成 10 年 10 月に行った「子育てに関する意向調査」結果を基にニーズを分析し、計画目標年である平成 27 年の目標事業量を設定しております。

一方、関宿町にはエンゼルプランと同様の計画がありませんでした。したがって、現行プランと同様の条件のもとで関宿地域の分析を行うために必要な基礎的データ等が存在しないため、単純に関宿地域も加えた平成 27 年の目標事業量は算出不能です。

(2) 新プランの目標事業量

新プランでは、上記の考え方のとおり、新野田市をベースとして平成 21 年の目標事業量を算出します。このため、保育所定員数などサービスによっては、

関宿地域に既存のサービスが存在すること

関宿地域のニーズを勘案したものとなること

から、現行プランにおける平成 27 年の目標事業量を上回るものがあります。

ただし、こうしたものが全てではなく、将来計画をフォローアップする上でも重要な指標となるため、現行プランにおける目標事業量があるものについては、数値を併記することとします。

〔参考〕

事業名	ニーズ量	目標事業量	旧エンゼルプラン	備考
通常保育事業	1,928人	1,930人	1,500人	現在、1,580人
延長保育事業	19:00まで 402人 20:00まで 30人 21:00まで 6人 22:00まで 14人	19:00まで 402人 20:00まで 30人 21:00まで 6人 22:00まで 14人	・7:00～7:30 10ヶ所 140人 ・18:00～19:00 10ヶ所 210人 ・19:00～20:00 10ヶ所 70人	実施済み。
休日保育事業	40人	40人		現在、1ヶ所20人
夜間保育事業	14人	0人		南部保育所が午後10時まで延長
病児・病後児保育 (派遣型)	2人	0人		施設型の利用実績(1.09/日)を考慮
ファミリー・サポート・センター事業	1ヶ所	1ヶ所		実施済み。
学童保育事業	995人	995人	650人	現在、720人
ショートステイ事業	10人	0人		受け入れる児童養護施設がない。
トワイライトステイ事業	33人	0人		受け入れる児童養護施設がない。
病児・病後児保育 (施設型)	33人	4人	20人/日	利用実績(1.09人/日)を考慮
一時保育事業	43人	43人	15人/日	現在、1ヶ所9人
特定保育事業	20人	0人		待機児童解消を優先させる。
地域子育て支援センター事業	4ヶ所	4ヶ所	1ヶ所	現在、2ヶ所
つどいの広場事業	1ヶ所	1ヶ所		未実施
産休明け保育	2ヶ所 15人/年	2ヶ所 15人/年	1ヶ所 11人/年	実施済み。
低年齢児受け入れ	716人	716人	610人	定員見直し等